

# 平成29年度事業報告

## 1 概要

まちを創る主人公・主体者は、われら高齢者です。

シルバー人材センターの会員になって「生きがい」と「社会的存在」を示し、一人ひとりの夕映えの輝きと証をつくりませんかと「働く喜び」「学ぶ喜び」「奉仕の喜び」の三つの理念を掲げて活動しました。

さらに、4つの活動方針と5つの活動項目を掲げ、当センターが関係自治体と連携し、地域と密着した事業を実施してまいりました。

また、一般家庭や企業等に対し、就業のニーズの把握調査や発注依頼を行った就業開拓推進事業、チラシや看板の作成、広報誌に掲載等をしながら入会促進を行った会員拡大推進事業、作業場のパトロールや就業内容の検討、安全に対する意識付けや確認を行った安全・適正推進事業など、機能強化推進事業を取り組みました。

## 事業実績

		男性	女性	全体
平成30年 3月31日現在	会員数	85人	31人	116人
	平均年齢	75.3歳	75.8歳	75.5歳

発注者	受注件数	就業延人員	受注金額
公共事業	12	560	4,372,610
民間事業	616	6,261	34,665,964
合計	628	6,821	39,038,574

## 2 事業の内容

### 4つの活動方針

- ①会員の加入と就業機会の拡大
- ②派遣事業の取り組みの推進
- ③安全就業の推進
- ④事業の普及啓発の推進

### 5つの活動報告

#### ①安全教育の実施

当センターは、会員の事故を未然に防止するため、班ごとにセンターに集合し、点呼及び健康状態の確認後、今日の作業内容、作業に関連する安全事項を局長又は班長が毎日実施しています。

また、会員の健康管理の一助となるよう、血圧測定器を研修センターに設置するとともに、町内の病院の協力により「健康教室」を実施しました。

## ②シルバーライフスクールの充実

社会の変化に主体的に対処するためには、常に学習し、社会参加をすることが大切です。そのために生涯学習の場と機会の拠点をシルバーライフスクールに位置づけて充実した学習の取り組みと、町内行事や地域環境美化活動などに参加してきました。

## ③花でまちを創る

「ふるさとは在るのではなく、みんなで汗を流して創るものです」そんな心意気をもって、花いっぱい運動を展開しています。

### (イ) バイパスコスモスロード ～今やまちのシンボルロード～

今年で21年目を迎えた国道272号線バイパス植樹帯3キロに渡ってのコスモスロードづくりを実施しました。この活動が高く評価され、これまでに北海道開発局長、そして国土交通大臣より道路功労者の表彰をいただいております。

### (ロ) コスモスの里づくり

中標津空港前の広さ約7,000㎡にコスモスの里を創る事業に理事、事務局員、会員が積極的に参加し、空港前の景観創りに努めました。

### (ハ) 花のじゅうたんプロジェクト

北海道の事業である「花のじゅうたんプロジェクト」事業（中標津空港からバイパスにつながる沿道の景観創り）にシルバーの会員が参加し、道路管理者と花の苗3,000株を植樹帯に植え込み、行政と住民の共同の取り組みとしてこれまでも新聞に大きく取り上げられるなど、高く評価されています。

### (ニ) 町並みを花で飾る

シルバーの会員により役場前をはじめ町道(5路線)をマリーゴールドの花でいっぱいにし町民サービスと町のイメージアップに努めました。

## ④ボランティア活動

ボランティア活動は、地域社会にシルバー事業の普及及び啓発を図ると共に、地域貢献によって社会とのつながりを深め、相互理解・協力関係を築いていくことができました。活動としては、森の家の障がい者や独居宅に餅を配る「春よ来い！！もちつきの集い」、除雪とあわせた宅配おしゃべりの「愛のネットワーク」、小学生を中心とした大勢の親子連れが参加した「河童まつり」などを実施しました。

## ⑤子ども&高齢者交流館

当センター事務所2階を「子ども&高齢者交流館」として活用しています。小林竹春「からくりおもちゃ館Rabbits」「野鳥コーナー」「万華鏡コーナー」など、町内の幼稚園や保育所の幼児、町内外からの親子連れ、ビザなし交流ロシア人団体一行が来館し、大いに活用されています。